

# 平成21年度当初予算総額(※骨格予算) 一般会計227億2,062万2千円

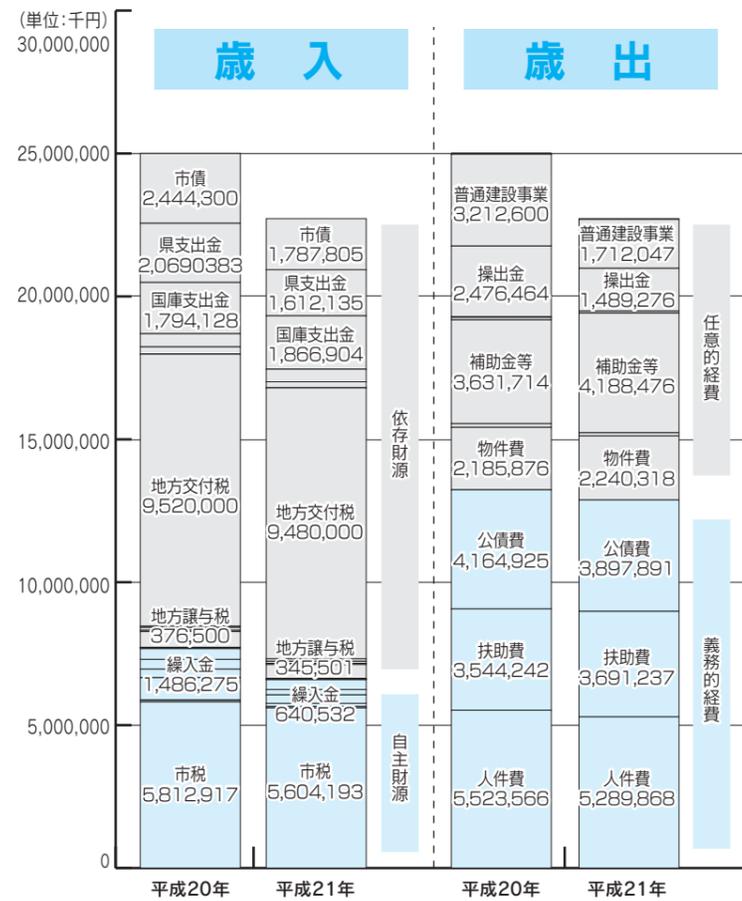
特別会計(6会計) 142億 624万5千円  
企業会計(水道・下水道・病院) 53億2,778万円

**予 算**

平成21年度当初予算については、平成21年2月に市長選挙が実施されたため**骨格予算**とし、人件費や扶助費等の義務的経費、経常的経費及び継続事業を中心として計上することに留めている。

予算の規模については、一般会計の総額を227億2,062万2千円、対前年度比9.1%の減額予算とした。主な財源は、歳入として市税56億4,193万3千円(対前年度比3.6%減)、地方交付税94億8,000万円(対前年比0.4%減)、市債17億8,780万5千円(対前年度比26.9%減)となっている。歳出については、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の56.7%を占めている。(対前年度比2.7%減)。また、普通建設事業は全体の7.5%を占め(対前年比46.7%減)、主なものとして、小中学校耐震補強事業や市道新設改良補助事業、緊急的な雇用対策費となっている。

特別会計については、新年度から公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計を一本化し、企業会計に移行することになる。



**※骨格予算**

地方公共団体の首長や議員選挙があるため政策的な判断ができていくといった理由で、政策的経費など——例えば建設事業費——の予算計上を避け、人件費など必要最小限度の経費を計上した予算

## 平成21年度宇城市各会計当初予算 (単位:千円)

会計名	予算額
一般会計	22,720,622
特別会計	
国民健康保険	8,056,695
老人保健	13,993
後期高齢者医療	630,315
介護保険	5,148,381
奨学金	26,372
簡易水道事業	330,489
企業会計	
水道事業	1,929,477
下水道事業	2,877,083
市民病院事業	521,220

※企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計

# 平成21年第1回定例会

平成21年第1回定例会は、3月6日から30日までの25日間の会期で行われた。今定例会では、専決処分の報告2件、人事案件1件、条例案件17件、予算案件20件、その他案件4件の42議案のほか、議員提出議案1件が上程され、審議の結果、すべて、原案どおり可決した。

一般質問は24、26、27、30日の4日間行われ、11人の議員が、市政全般について議論した。

## 条 例

今回新たに制定された条例の主な内容は次のとおり。

●宇城市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例  
介護報酬改定による介護保険料の上昇を抑制し、被保険者の負担の軽減を図る必要がある、介護従事者処遇改善臨時特例基金を設置するため、条例を制定するもの。



●宇城市農林水産物直売交流施設条例  
宇城市農林水産物直売交流施設を建設するにあたり、条例を制定するもの。

## 補正予算(平成20年度)

●一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出それぞれ18億7,027万9千円を追加し、総額を279億8,597万7千円とした。

●国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
歳入歳出それぞれ3億6,733万7千円を減額し、総額を80億9,266万5千円とした。

●後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出それぞれ8,766万5千円を減額し、総額を6億3,950万9千円とした。

●介護保険特別会計補正予算(第5号)  
歳入歳出それぞれ9,176万2千円を減額し、総額を48億4,607万7千円とした。

●奨学金特別会計補正予算(第2号)  
歳入歳出それぞれ7,000万円を減額し、総額を1,484万1千円とした。

●簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ4,800万円を減額し、総額を3億6,076万7千円とした。

## 請 願

●農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ67万5千円を減額し、総額を2億7,265万7千円とした。

●公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ5,694万1千円を減額し、総額を21億7,393万7千円とした。

●水道事業会計補正予算(第3号)  
収益的収入を10億8,592万5千円とし、支出を11億4,341万7千円とした。

●特別養護老人ホーム増床確保保についての請願書  
提出者 特別養護老人ホーム水晶苑  
理事長 石村 照明  
結果 採択

